

経済・金融翻訳の特色

このジャンルでカバーする範囲は広く、多岐にわたります。

翻訳対象となる「政治」「指標」「金利」「外国為替」「証券」「保険」などは各テーマで専門性が高く、互いに関連性があるため、幅広い背景知識が必要です。また、専門用語や略語の多さ、数字の重要性が高いことなども経済・金融翻訳の特徴として挙げられます。対象となる文書の種類は大きく以下のように分けられます。

- 時事情報 —— 新聞記事、雑誌記事、ニュース素材など

口語的な表現やレトリックなどを用いられる場合が多く、政治・社会・文化に関する幅広い知識が求められます。

- 論文・分析報告書 —— 経済論文、投資分析報告書、運用報告書など

因果・相関関係などが論理的かつ客観的に述べられている文書。経済学や金融、投資理論に関する知識が求められます。

- 統計情報・業績報告書 —— 統計報告書、決算短信、年次報告書など

公的機関が、マクロ・ミクロの経済動向を発表する文書。経済指標や会計に関する知識が求められます。

- 市況レポート —— 株式市場レポート、債券市場レポート、為替市場レポートなど

金融機関が定期的に発表する各マーケットの動向についてのレポート。定型表現や相場特有の表現が多く、会計関連の知識も求められます。

仕事にはレギュラー（定期的な依頼）と、スポット（随時依頼）があり、上記の中で時事情報、市況レポートはレギュラー、報告書はスポットとして依頼される場合が多いです。レギュラーの仕事は締切が厳格ですが、扱う対象や表現、文体が決まってくるため、用語集の作成などにより効率よく仕上げることができます。スポットの仕事では毎回異なるテーマを扱うため、その文書の内容や表現について、ある程度知識がないと翻訳準備だけでかなりの時間を要することになります。

1. 経済動向

この章では、投資家が投資の判断材料にする経済全体の大きな動きとその要因について、「**経済指標**」「**経済の動き**」「**経済の予想**」の3項目で学びます。「**経済指標**」とはGDPや物価統計、雇用統計など国や民間の機関が発表する統計指標。「**経済の動き**」は過去・現在・未来における経済の状態を示す、景気循環や好況不況などといった考え方です。「**経済の予想**」では、国や民間の機関が発表する経済動向の予想、立場による見方の違いなどについて解説します。

1-1 経済指標

金融市場が経済動向を知る上で最も重要視しているのは、経済に関する統計専門の公的機関や民間機関が発表する**経済指標 (economic report)**です。そこから経済の動きを把握し、今後の予想を立てていきます。経済指標は英語で **economic report** や **economic data** (あるいは **economic** を省略して、ただの **report, data**) と書かれることが多いのですが、これらを「レポート」や「データ」のように訳すと経済指標であることが分かりにくくなる場合があります。文脈上、明らかに経済指標を指している場合は「**経済指標**」または「**経済統計**」と訳するのが良いでしょう。

経済指標の動向を伝える英文には通常、過去の時期と比較した変化が書かれています。比較時期が明記されない場合もありますが、日本語訳では付記するのが一般的です。

経済指標では、数字が他国の指標や異なる時期の指標と比較しやすくなるように元データの換算や調整をすることがあります。換算と調整の最も代表的なものは、四半期ベースや月ベースのデータを年間の数字に換算する**年率換算 (annualization)**と季節変動の要因を除去して調整する**季節調整 (seasonal adjustment)**です。

【例文 1】

Gross domestic product grew at an annualized 0.1 percent rate in the first quarter, the Commerce Department said on April 30.

「4月30日に商務省が発表した第1四半期の**GDP成長率は年率換算で前期比0.1%増。**」

経済指標が発表される間隔には、**年次 (monthly)**、**四半期 (quarterly)**、**月次 (monthly)**、**週次 (weekly)**などがあります。主要経済指標である**国内総生産 (GDP : gross domestic product)**は四半期毎の発表ですが、最も多く発表されるのは**非農業部門雇用者数 (nonfarm payrolls)**、**小売売上高 (retail sales)**など月毎の指標です。週次統計の代表的なものには**新規失業保険申請件数 (initial claims)**などがあります。統計数値には最終的数値である**確報値 (final figures)**の前に**速報値 (preliminary figures)**と**改定値 (revised figures)**が発表されるものがあり、GDPの場合、英国、米国、ユーロ圏(全体)は各四半期につき、速報値、改定値(速報値の約1ヶ月後に発表)、確報値(改定値の約1ヶ月後に発表)と3回の統計が発表されます。

練習問題サンプル

第2回～第5回の授業ではテキストにある4項目のテーマに沿った練習問題（各4問）に取り組みます。練習問題は授業内で発表をし、講師が解説をします。

1. 経済動向

Economists expect that the economy added 258,000 new nonfarm payroll jobs in July, compared with 372,000 in June.

2. 市場環境

The U.S. Federal Reserve held interest rates steady on Wednesday but stiffened its hawkish stance, with another rate increase projected by the end of the year and monetary policy kept significantly tighter through 2024 than previously expected.

3. 企業業績

ABC Inc. reported second-quarter fiscal 2023 (ended Aug 31, 2022) net earnings per share of 79 cents, lagging the Zacks Consensus Estimate of \$1.40 amid lower-than-anticipated revenues across all segments.

4. 市場動向

Wall Street ended mixed on Wednesday after a volatile session that saw ABC slump and other growth stocks also lose ground.

添削課題サンプル

第2回～第5回の授業ではテキストにある課題を、第6回の授業では金融動向が分かる旬なトピックを題材にした課題に取り組みます。提出した課題は講師がチェックして、授業では全員分を共有します。

<和訳>

●投資情報サイトの掲載記事からの抜粋です。すべて和訳してください。

Keeping a Lid on Rates

It may be tempting to blame the Fed for low rates. However, its role—although powerful—is also limited to the very short end of the curve; the longer-maturity bond yields are much more market driven. In addition, the Fed’s actions are (or should be) made in reaction to economic conditions, and in relation to its objective to promote full employment and stable prices. If inflation is well below the Fed’s policy target sweet spot of 2 percent, it’s reasonable to expect the Fed to continue pursuing policy to reach that objective. After all, although high inflation is an often-cited economic risk, the absence of inflation (or deflation) can also be damaging.

If we can’t fully blame the Fed, something else must be going on with bond prices, particularly longer-maturity bonds—something that relates to supply and demand. We believe there are several demand forces working to keep a lid on interest rates, despite the improving conditions of the past decade.

Demand from Foreign Buyers

In contrast to the impact of post-recession stimulus within the U.S. described above, the conditions are less rosy in other parts of the world. Europe, in particular, remains on wobbly ground. Unlike the U.S., where both monetary and fiscal policy tools have been used to reignite growth, Europe’s strong austerity preference creates a reluctance to use deficit spending. In 2014, the failure of traditional measures to stimulate growth, combined with a less dynamic economy, demographic headwinds, and continued weakness in the banking system, led the European Central Bank (ECB) to embark on an aggressive and daring course.

It reduced short-term policy rates below 0 percent, with follow-on rate decreases moving the policy rate to negative 0.4 percent, where it stands today. This dramatic action was intended to provide a jolt to the system—if reserves were penalized with a negative interest rate, banks should be much more willing to lend.

出典:“Diminishing Returns: The Incredible Shrinking Bond Yield” by Sam Kirby, October 24th, 2019 CAPTRUST

<英訳>

●以下すべてを英訳してください。

1. 総務省が発表した12月の全国消費者物価指数(生鮮食品を除くコアCPI)は前年比0.1%低下し、3ヶ月連続で前年を下回った。
2. 財務省が発表した9月の貿易統計によると、自動車や自動車部品の需要が増加し、輸出金額は、前年同月比2.4%増を記録。9月の貿易黒字は3000億円(39億ドル)を記録している。
3. 債券相場は大幅に上昇。CPIが市場予想に届かなかったことが買い材料となった。長期金利は1.273%台と、約2週間ぶりに1.3%台を割り込んでいる。
4. 先週末に発表された米9月の消費者物価指数(CPI)は+0.4%で、食品、エネルギーを除くコア指数も+0.2%と、いずれも市場予想を下回っている。